

**小学5年生と中学2年生を対象として実施した  
「令和5年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査」  
の体格と運動能力面の集約結果について**

「実施時期」 令和5年4月から7月

「体格」

小学5年男子については、身長は全国平均値を上回り、体重は下回っています。中等度肥満児童の割合は全国平均値より2%以上高くなっていますが、軽度肥満児童の割合は全国平均値を下回っています。標準的な体格の児童の割合が全国よりも4%以上高くなっており、バランスの取れた体格の児童が多いことがわかります。

小学5年女子については、身長、体重ともに全国平均値を下回っています。中等度肥満児童の割合は全国平均値より高くなっていますが、軽度肥満児童の割合は全国平均値を下回っています。また、やせ型児童の割合は全国よりも5%以上高く、対象生徒の体重増加が望まれます。

中学2年男子については、身長、体重ともに全国平均値を上回っておりますが、軽度肥満傾向及び高度肥満傾向の生徒の割合が全国平均値よりも高くなっております。

中学2年女子については、身長は全国平均値を上回り、体重は下回っています。標準的な体格の生徒の割合が全国よりも6%以上高くなっており、バランスの取れた体格の生徒が多いことがわかります。

「運動能力」

小学5年男子は、8種目中7種目において全国平均値を上回っております。唯一握力では全国平均値をやや下回っています。

小学5年女子は、8種目中7種目で全国平均値を下回っております。特に、握力と20mシャトルランで全国平均値を下回っており、筋力、体力の向上が望まれます。

中学2年男子については、8種目中5種目で全国平均を上回っております。上体おこし、ハンドボール投げでは全国平均値をやや下回っており、筋持久力、瞬発力の向上が望まれます。

中学2年女子については、8種目中7種目で全国平均値を上回っております。20mシャトルランでは全国平均値をやや下回っており、体力の向上が望まれます。

令和3年度の結果と比較すると、小学校男子でやや向上、女子でやや低下しており、中学校男女はやや向上という結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響下においても、授業改善や体力向上のための工夫をした取組が行われてきたことが、今回の結果に繋がっていると考えられます。

アフターコロナへの移り変わりの中、町教育委員会としましても、今回の結果を受け、体力、運動能力及び運動習慣づけなど、より向上していくような取り組みを実施していきたいと思っております。